

令和元年度（2019年）
岡山歴史研究会会員による

吉備国の郷土史 出前講座 研究テーマ・一覧表

令和元年6月16日現在

吉備国の語り部の会

令和元年 6 月 30 日

各位 様

『吉備国の語り部の会の発足』について

岡山歴史研究会 吉備国の語り部の会

令和元年 4 月 10 日に岡山歴史研究会内に「吉備国の語り部の会」が発足しました。岡山歴史研究会会員は、いろいろなテーマで郷土史を研究しております。研究の成果を県民に伝える活動として、吉備国の語り部活動を開始します。岡山歴史研究会会員による「郷土史の出前講座」です。

公民館等で郷土史講座の講演者を探しておられます。もっと身近なテーマで話を聞きたいと思っても研究者の名前がわかりません。そこで、会員が「郷土史の出前講座」をしたい「研究テーマの一覧表」を作成しました。参考情報としてご提供致します。

講師を選定するのはお客様です。私たちは情報提供のみです。会員を紹介して直接打ち合わせていただきます。講師謝礼等は、お客様の規定通りです。(ボランティア活動もあります。)

吉備国の語り部の会の活動内容

- ① 「郷土史の出前講座」実施の為に会員の「研究テーマ一覧表」を作製しました。
- ② 出前講師を探している団体へ「研究テーマ一覧表」を送付します。
- ③ 講師派遣依頼があったら、講師へ連絡し直接交渉していただきます。
- ④ 出前講師派遣の実績を岡山歴史研究会事務局へ報告します。
- ⑤ 派遣講師の追加、研究テーマの追加修正は、岡山歴史研究会のホームページで公開します。

講師派遣依頼は、記録を残すためにメールにてお願いします。

出来れば第二希望迄、お願いします。

整理No.	テーマ名	講演希望 年月日・時間	講師名
-------	------	-------------	-----

吉備国の語り部の会事務局

丸谷憲二	yanagirousi@gmail.com
------	-----------------------

Yanagirousi とは柳老師の意味です。

藪下義文会員の研究テーマ	
整理No.	テーマ名
1	神社信仰の興亡
杉 嘉夫会員の研究テーマ	
2-1	<p>神戸事件と瀧善三郎</p> <p>要旨</p> <p>1. 神戸事件を通じて幕末の攘夷・開国に関する朝廷・幕府・薩長及び備前藩の動向</p> <p>2. 武士道の真髓を発揮した瀧善三郎の切腹の実情</p>
2-2	<p>池田綱政と岡山後樂園</p> <p>要旨</p> <p>1. 池田綱政の人物像とその投影である岡山後樂園の特徴</p> <p>2. 岡山城の惣構えとしての後樂園、特に対砲兵戦の見地から</p>
伊達教夫会員の研究テーマ	
3-1	街道の変遷（古代～中世） 岡山の山陽道
3-2	岡山の塔婆建築と在住大工集団（中世～近世）
山崎泰二会員の研究テーマ	
4-1	米と稲の歴史と文化
4-2	美作後南朝植月御所の秘史概説
4-3	日本語で生きよう 日本語の起源から万葉時代まで
板野忠司会員の研究テーマ	
5-1	「犬養木堂が挑んだ近代日本の光と闇」 (岡山県郷土文化講座)
5-2	「書き換わる日本史の論点」 (岡山歴史楽修塾)

5-3	「ミステリーゾーン秦の郷（古墳・神社・廃寺・渡来人）」 （吉備文化を楽しむ会）
岡 将男会員の研究テーマ	
6-1	吉備邪馬台国東遷説
6-2	岡山城天下取り物語
6-3	岡山の内田百閒
富久豊会員の研究テーマ	
7-1	大化の改新の謎
7-2	道鏡と三人の吉備人
7-3	二人の天皇の母 吉備姫王とは
7-4	大和王権と吉備国
井上知明会員の研究テーマ	
8-1	「天孫降臨」の地はどこか
8-2	「神武東征」の虚実
8-3	「洛中洛外図」から見えてくる歴史
8-4	悲運の武将 三村元親
山田良三会員の研究テーマ	
9-1	法然から浄土の教え
9-2	吉備の秦氏
9-3	児島高德 そのルーツと後裔

9-4	熊澤蕃山 その師 中江藤樹と陽明学 陽明学の系譜と山田方谷先生まで
9-5	和氣清麻呂と寺社
平茂 寛会員の研究テーマ	
10-1	江戸時代の湯屋、天文学、剣豪、博奕、富籤についてなど
10-2	「知られざる剣豪」
10-3	「奇人剣豪 平山行蔵」
10-4	「徳川吉宗と江戸時代の天文学」
10-5	「江戸の湯屋」
10-6	「いかさま采」
10-7	「江戸時代の富籤」
10-8	「鍬形蕙斎」
高橋義雄会員の研究テーマ	
山田方谷の軌跡、生涯、業績、功績、藩政改革、高弟、影響、思想、陽明学	
11-1	山田方谷の師 丸川松陰、佐藤一斎
11-2	山田方谷の孫養子 山田濟斎、その子弟 川崎祐宣
11-3	山田方谷の友人 阪谷郎廬、坂田警軒、関藤藤陰
11-4	山田方谷の高弟 団藤善平、その孫 団藤重光
11-5	山田方谷の高弟 三島中洲、川井継之助、神戸秋山
11-6	三島中洲の親友 渋沢栄一

11-7	山田方谷の進言 老中板倉勝静（備中松山藩主）による神武天皇陵の修補
11-8	川井継之助の学僕 外山脩造
11-9	山田方谷の高弟 原田一道、留岡幸助、福西志計子、西毅一
11-10	川田甕江の子弟 新島襄
11-11	川田甕江の子息 川田順、曾孫 歌手佐良直美
11-12	備中松山藩 板倉勝静、熊田拾、鎌田玄溪
柔道の先進県	
11-13	柔術の発祥 武内流
11-14	名人の輩出 田辺又右衛門、金光弥一兵衛
11-15	第六高等学校柔道部の全国制覇 8 連覇
11-16	シャーロック・ホームズを助けた玉島の柔術
11-17	講堂館四天王の岡山出身の柔術家
11-18	コナン・ドイルの 60 の作品を翻訳した津山出身の翻訳家
銀行の歴史	
11-19	池田藩設立の第二十二立銀行
11-20	備中松山藩設立の第八十六国立銀行
11-21	我が国初の 6 行合併の第一合同銀行 大原孫三郎
11-22	一県一行の先駆者 大原孫三郎
11-23	ワースト 5 から日本一の銀行に改善した銀行
伝記	

11-24	大原孝四郎、大原孫三郎
丸谷憲二会員の研究テーマ	
吉備国の古代史	
12-1	『吉備国の語源考 黄蕨・羈縻政策説と日本人バイカル湖畔起源説』
12-2	『弧帯文石から見える楯築遺跡考』
12-3	『岡山学としての吉備邪馬台国論』
12-4	『地名学では邪馬台国は岡山です』
12-5	『瀬戸内市の焼物地名 土師と須恵』
12-6	『牛窓町鹿忍槌ヶ谷遺跡から見える相撲伝来史』
12-7	『石上郷（長船町磯上）と日向石神社（石上神社）考』 他
12-8	『草ヶ部 大廻小廻山城の考察』
12-9	『氣比神宮末社 擬領神社と黄蕨（吉備）国』
12-10	『大内神社 古代文字 阿比留文字の考察』（備前市）
12-11	『秦王国の所在地と秦氏の祖・弓月君の故郷 弓月国の考察』
12-12	『吉備津神社 七十五膳据神事の七十五の起源についての考察』
12-13	『龍蛇様（背黒海蛇）から見える出雲の神迎祭と神在月』
12-14	『吉備児島と神武天皇聖蹟高島宮伝説地の考察』
熊山遺跡の研究	
12-15	『熊山遺跡と唐招提寺』
12-16	『古代史から見る豊安地名』

澤田山恩徳寺（岡山市沢田）HP 休止中	
長沼鉦山跡発見報告（岡山市東区）	
12-17	『元文三年（1738）上寺山餘慶寺略縁起と豊原庄の考察』
12-18	『豊原庄と豊原南島神社』他
12-19	『備前西大寺最後の秘境・長沼鉦山跡発見・ハイキングロードを』他
会陽の研究	
12-20	『会陽の起源への挑戦』
12-21	『備前西大寺会陽 元和二年（1616年）枝牛玉の考察』
12-22	『西大寺会陽の御福窓と御福銭』
12-23	『何故、無量寿院まで深夜に大人数で宝木を戴きに行くのか。』他
備前西大寺地名考	
12-24	『犀角を伽藍に埋めるとは、仏教上の意味』
12-25	『備前西大寺は福岡御庄から移転しました』
12-26	『金岡本庄と福岡御庄』
12-27	『金陵山西大寺普門院と阿弥陀寺』
12-28	『備前西隆寺と備前西大寺 その地名の意味するもの』
12-29	『備前福岡国府説の補説』
12-30	『高島国府から松中島へ、そして現在地へ』
12-31	『備前西大寺地名考 皆足と二井寺山極楽寺』
12-32	『皆足姫の誕生日は ???』

中山 亘会員の研究テーマ	
13-1	十七条憲法と制定の背景
13-2	律令制度の官・職・機構・組織の変遷
13-3	貞永式目（御成敗式目）の今日性—日本人論の原型
13-4	毛利元就と教訓状—三矢の訓の真実—
13-5	東北地方に多い名君の訓えと戒石名（治世の訓、伝国の辞等）
13-6	日暮硯における虚と実
13-7	高遠城主・仁科盛信と女性軍の最期
13-8	幕藩治政下における代官統治（天領）
13-9	愛語と清貧と天真に生きた人間良寛—無為・無所有・身心虚脱の生涯—
13-10	吾妻鏡における北条政権の盛衰と功罪
13-11	大名庭園のもつ二面性と戦略的意義—名勝後樂園を中心として—
13-12	後樂園築庭の表と裏
13-13	備前・備中・美作・備後になぜ「天領」が多いのか
13-14	備中松山藩と水谷三代（勝隆・勝宗・勝美）
13-15	幕末の名参政山田方谷と藩政改革
13-16	今なぜ山田方谷なのか—世界が希求する人材の治積と人間論—
13-17	方谷 山田安五郎先生 外伝—祖父が孫に語り遺したその人物像—
13-18	山田方谷先生幼年時代の揮毫遍歴

13-19	岡山の名君と賢臣—備中松山藩板倉勝清公と参政山田方谷—
13-20	備中三名城の一つ齋田（佐井田）古城物語
13-21	桃太郎伝説と三匹の家来—情報合戦—
13-22	セラミックスと備前焼の話
13-23	『魚水実録』復刻版の刊行に寄せて（その概略）
その他	比較文化人類論 多数 地方文化論 多数 文芸・評論 多数 ビジネス・調査方法 多数 事務・行政管理等 多数 公務員論・ビジネスマン論 多数 行政救済制度 多数 趣味・その他 多数・・・ご相談願います。

会員の自己紹介

1 藪下義文会員

著書

『バイオマスが世界を変える 日独の比較政策研究』
平成 20 年（2008）晃洋書房

循環型社会の実現が日本においてなぜうまく機能しないのかを解明。良き先例ドイツと日本の法的枠組みの比較、循環型社会構築の枠組み自体の改革、市場化へ道筋をつけることを中心とする新たな循環型社会の可能性を提案する。



寄稿

「桃太郎はなぜ岡山で興隆したのか? (前編)」

「桃太郎はなぜ岡山で興隆したか? (2)」

先史古代研究会『きび考 第 17・18 号』平成 29・30 年寄稿

2 杉 嘉夫会員

その他

- 昭和 10 年岡山市上之町生まれ、岡山操山高卒業
- 昭和 33 年防衛大学校卒業、陸上自衛隊へ、前半主に野戦特科（砲兵）として、後半は情報関係 平成 2 年定年退職（一等陸佐）
- 岡山人物銘々伝を語る会会員

著書

- 『岡山後樂園の美しさ・楽しさを伝えるために』平成 26 年 3 月

3 伊達教夫会員

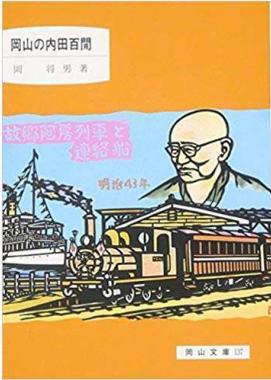
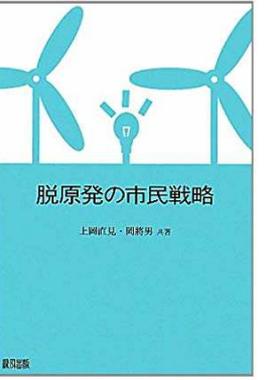
その他

岡山歴史楽修塾 事務局長

4 山崎泰二会員

その他

岡山歴史研究会 副会長
先史古代研究会 会長
岡山市エコ技術研究会
先史古代研究会会報『きび考』編集委員長
『雑学の泉』（旧称 初老のコラム集）エッセー集 発行中
『日本語で生きよう』2014 年 8 月
『後南朝と植月御所』平成 28 年 10 月
『後南朝と菅家関係』平成 25 年 7 月
『五島列島ドンザの会 活動報告』 編集長 平成 25 年発行
『日本の神話 蒜山高天の原物語』 編集長 平成 30 年 5 月発行
『日本のふるさと 伯耆の国物語』 編集長 平成 31 年 3 月発行

寄稿	『日本の食と農を考える』平成25年3月 「日本国家の起源 五島列島に実在した高天原について」『歴史研究第605号』2012年10月号 特集『古事記』誕生の謎
5 板野忠司会員の自己紹介	
その他	秦歴史遺産保存協議会会長 (元) 犬養木堂記念館館長 岡山県郷土文化財団会員 岡山歴史研究会会員
6 岡 将男会員の自己紹介	
その他	NPO 法人公共の交通ラクダ(RACDA)会長 楯築サロン(吉備古代史)代表 百鬼園倶楽部(内田百閒顕彰会)会長 1954年 岡山市生まれ。東京大学経済学部卒。 路面電車とまちづくりの全国ネットワークを主導。 文化方面でも幅広く活動。 文藝春秋で「タフネゴシエーター」と紹介される。 「ロビイスト」(交通など)を名乗る。
□著書	<p>「岡山の内田百閒」1989年 日本文教出版(岡山文庫137)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>「吉備邪馬台国東遷説」2014年 吉備人出版</p> <p>共著 「路面電車とまちづくり」1999年 学芸出版社 「バスマップの底力」クラッセ 「古代吉備歴史小説 勾玉の首飾り」ビジネスセミナー 1992年4月号～1994年5月号。 「脱原発の市民戦略」2012年 緑風出版 「卑弥呼は近江か出雲か吉備か」</p>

	<p>「卑弥呼と邪馬台国/新邪馬台国 G5 サミット in 吉備」TV せとうち 「中国地方の鉄道探見」 「環境自治体白書 2011 年度」 ★岡山城築城 400 年ソフト事業委員長 ★岡山経済同友会地域振興副委員長</p>
--	--

7 富久 豊会員

<p>著書</p>	<p>大化の改新前後から、平安時代初期までの古代史の著作 2 冊有り。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="margin-right: 20px;">  </div> <div> <p>『滅びの音』2007 年 新風舎</p> <p>時は八世紀末。大倭王権の“欲”の渦の中で翻弄され、国賊として滅ぼされた小国「阿羅伽耶国」の悲劇を、膨大な資料と歴史的事実を基に再現した、古代東北歴史ロマンの決定版。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div style="margin-right: 20px;"> <p>『闇人』2010 年 文芸社</p> <p>蘇我氏を失脚させ、大化の改新を成し遂げた中大兄皇子（天智天皇）と中臣鎌子（藤原鎌足）の生涯を、その二人を陰で支えた山師集団の暗躍を絡ませながら、新たな視点で描いた歴史大河小説。大胆な仮説を立て、大化の改新を独自の視点でとらえた物語。『日本書紀』を踏襲しながら、史実と創作を巧みに融合させ、劇的な物語を展開する一方、歴史上の人物の人間性を豊かに描いている。</p> </div> <div style="margin-left: 20px;">  </div> </div>
-----------	---

8 井上知明会員

<p>□著書</p>	<p>『食品・栄養・化学物質と健康』2002 年 新風舎 『洛中洛外図の世界一室町時代の京都を見る一』2014 年 鳥影社</p> <p>中世のある時期、京都の五条橋は東西二本の橋に分かれていたということをご存じでしょうか。いくつかの洛中洛外図屏風をよく見ると、確かに二本の五条橋が描かれています。洛中洛外図は京都とその周辺（洛中、洛外）の景観、町並、風俗が描かれた屏風です。この本は、洛中洛外図のうち最も古い歴博甲本と、狩野永徳が描き織田信長が上杉謙信に贈ったことで最も有名な上杉本を中心に、洛中洛外図を紹介・解説したものです。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div>
------------	--

屏風を子細に見ていくと、描かれた当時の歴史がいろいろ見えてきます。政治権力の推移や風俗の変遷、当時の年中行事など、見どころいっぱいの洛中洛外図を紹介したものです。（岡山の林原美術館にも、池田家に伝わった江戸時代のすばらしい洛中洛外図があります。）

『日本史の謎を斜めから見る』2016年 鳥影社



古代史を中心にして、14のテーマで日本史の謎について考察した本です。歴史上の謎と言われているような事象・事件について、さまざまな立場からの学説・見解を紹介しており、定説とは異なる説も多数取り上げていますが、知的エンターテインメントとして楽しんでいただければと思っています。主な内容としては、〈国宝漢委奴国王金印は偽物なのか〉、〈古代出雲王朝と出雲大社〉、〈天孫降臨の地はどこか〉、〈神武東征はあったのか〉、〈現天皇家の真の初代は継体天皇か〉、〈聖徳太子はいなかったのか〉、〈九州年号の謎〉、〈再建法隆寺の謎〉、〈日本書紀という巨大で魅力的な歴史書について〉、〈本能寺の変の真犯人は誰か〉などです。

9 山田良三会員

ブログ 吉備楽土
吉備の児島
山田家のスピリット
その他 岡山人物銘々伝を語る会 事務局長

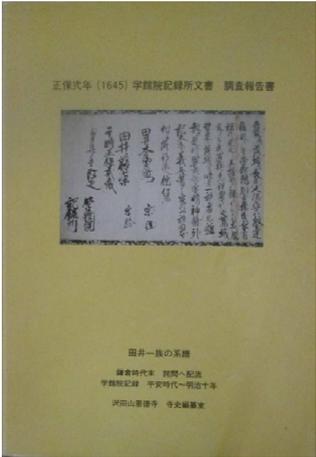
10 平茂 寛会員

著書 時代小説を執筆しています。
『大江戸歴史講座』晋遊社（共著）
『隈取絵師』朝日新聞出版
『暴れ茶人 無頼剣』学研M文庫
『悪采師』（あくさいし）朝日新聞出版
『とっぱあ与力（一）』富士見新時代小説文庫
『とっぱあ与力（二）火事場の華』富士見新時代小説文庫
『ねぼけ医者 月を斬る』招き猫文庫
『若さま水鏡剣』コスミック出版
『聖剣将軍事件帖』コスミック出版
『隠密刺客遊撃組』光文社
『剣摩推参 隠密刺客遊撃組（弐）』光文社

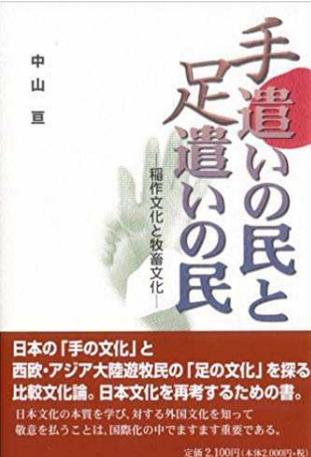


11 高橋義雄会員

論文	先駆的銀行合同例の地銀間比較 —第一合同銀行と藝備銀行との財務諸表の比較を中心として— —両大戦間期に「一県一行」を先駆けた大原頭取の銀行経営について— 岡山大学経済学部非常勤講師を経験
著書	「中國銀行五十年史」(優秀会社氏賞受賞)
編著	「岡山県史(金融編)」(岡山県刊) 「新修倉敷市史(金融編)」(倉敷市刊) 「岡山県人物事典」(山陽新聞社刊) 「柔道」(講道館刊)
寄稿	執筆は堅いものからエッセイ、落語の原作まで書いてきました。 継続的に掲載されたもの雑誌「岡山ひやく店」「岡山財界」「瀬戸内ジャー

講演歴	<p>ナル」新聞「オカニチ」等 現在は「高梁川」（倉敷市発刊）に毎年投稿、歴 23 年になる。 「山田方谷ゼミナール」に投稿。</p> <p>大学、公民館、講演会等にて講演歴 35 年 ジャンルー経済、郷土歴史、歴史人物、研究テーマー</p>
<h2>12 丸谷憲二会員</h2>	
著書	<p>『正保三年（1645）学館院記録書文書 調査報告書』 平成 19 年 6 月 恩徳寺寺史編纂室 東京大学資料編纂所蔵</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>『荘内半島（香川県三豊市詫間）の中世史 学館院記録書文書Ⅱ』 平成 26 年 9 月 恩徳寺寺史編纂室 東京大学資料編纂所蔵</p>
論文	<p>「備前西大寺地名考 備前西隆寺と備前西大寺 その地名の意味するもの」 『岡山民俗 209 1998 年 岡山民俗学会』</p> <p>「物部神池のアカメヤナギ（ウラジオヤナギ）」 『土佐地域文化 第 11 号 茶特集 2008 年夏至 朝倉精舎』</p>
HP	<p>『黄蕨（きび）国の物語』 『会陽って何だろう』 デジタル岡山大百科 岡山県立図書館</p>
ブログ	<p>『地名学では、邪馬台国は岡山です』 『草ヶ部 大廻小廻山の考察 菊山城説』</p>
Youtube	<p>『牛窓町鹿忍槌ヶ谷遺跡から見える相撲伝来史』 『地名学では、邪馬台国は岡山です』 『古代史から見る豊安地名』 『上寺山餘慶寺略縁起と長沼鉦山跡発見報告』 『百枝八幡宮より見える吉備国の古代史』 『吉備国の語源 黄蕨と羈縻（きび）』 『会陽の起源への挑戦（短編）』 『長沼鉦山跡入坑報告』</p>

13 中山 亘会員

<p>□著書</p>		<p>「手遣いの民と足遣いの民」—稲作文化と牧畜文化—1999年 吉備人出版</p> <p>要点 水田稲作農耕を中心として育まれてきた日本文化。それに対し朝鮮半島や中国大陸の文化は、牧畜を主体とした文化。日本経済の発展の過程を振り返りながら、日本の手の文化的背景と遊牧民族の足の文化を探る比較文化論。</p>
<p>活動</p>	<p>「中津井やまびこ会」(「雛の文化祭り」等イベントの開催)の会長就任(H23.7～顧問就任) ・</p>	
<p>受賞</p>	<p>平成18年秋の叙勲 瑞宝小綬章</p>	